3年を牽引するリーディングカンパニー

ホーム・コンピューティング・ネットワーク

人材派遣の大手パソナとNTTが出資して設立された株式会社ホーム・コンピューティング・ネットワーク（東京都渋谷区笹塚1-54-5・03-5354-7635）。フランチャイズ展開を図るパソコン塾『パソナコンじゅく』『ホームコンじゅく』は今や生徒の6割以上が50歳以上で、その比率はますます高くなっている。河村直人社長にビジョンを聞いた。

生徒が卒業してもビジネスは終わらない

――「パソナコンじゅく」は地域のネットワーク拠点づくりだったそうですね。

「『じゅく』にはパソコンやインターネットを習いにいろいろな人が来ます。パソコンはコミュニケーションの道具ですから、当然そこでネットワークが形成され、コミュニティができる。そこで結ばれている状態、つながっている状態というのは、ビジネス的にみてもこれからの社会の必要性ということからみても、重要なんです。そして、フェース・トゥ・フェースでもつながっているということは、今では失われつつあることですよね。温かさとかふれあいとか、そういった極めてアナログ的な部分を、『じゅく』というコミュニティの中できちっとしたサービスに変えていこう、ということだったんです」

――それで、先生に求められるスキルも、コミュニケーション・スキルだということになるのですね。

「我々はサービス業をやっているのです。パソコンを教えるのではなく、パソコンを楽しむというサービスを提供している。だから、研修ではいろいろな形のケーススタディを行い、どのように生徒さんに接していったら、気持ちよく喜びとして受け止めてもらえるかを学んでいくのです」

――そのスタイルが高齢者に受け入れられた。

「それと先生の目線が生徒さんと一緒だったということでしょうね。うちは先生自体も40～60歳の人たちなんですよ。しかも最近始められた方は、ほとんどが早期退職された方ですね」

――今後の展開としてどんなことを考えていますか。

「今の延長線上でいえば、中高年の方々をもっと取り込んで、コミュニティを密に濃くしていきたい。普通は生徒さんが卒業すればそこでビジネスは終わりますけれど、そうした卒業生とのつながりをもう一度見直したいのです。例えば、まだ家で学びたいとか、月に1回でもいいという人とか、ネット上でのコミュニケーションに参加したい人や、作品展などのイベントに参加したい人もいる。そのところを機能的に動かすと、新しいビジネスが生まれるということですね」

あ・える倶楽部

（東京都渋谷区道玄坂1-10-5 DMPビル7F　代表取締役社長　篠塚恭一）。旅行人材の専門会社として設立後、高齢者・障害者向けの旅行を扱い、旅行業の認可を取得。現在は「介護旅行」の普及を提唱し「トラベルヘルパー」の育成を通して、リタイアメント時代の「旅のユニバーサルデザイン化」を進める。

旅と介護を融合させたトラベルヘルパー

――介護と旅行を組み合わせた事業を進めています。

「当初はホスピタリティ教育としてバリアフリー旅行の人材育成、その後、旅行業の認可を取得して、高齢者・障害者向けの旅行取り扱いを始め、現在はケアと旅行を組み合わせた『介護旅行』の分野を扱っています。

私どもが提案している介護旅行は、高齢で身体が不自由となっても、誰もがイキイキと心明るく暮らしたいわけで、家族に代わって私どもが旅先での介護をしたり、医療サービスの提供を受けながら旅を続けることを実現させようというものです」

――発想のきっかけは。

「旅行というのは結局はリピーター相手の仕事。年に一度の旅行を楽しみにしているんです。それが歳を重ねるに連れて、歩くスピードが遅くなる、食が細くなる、目が悪くなる…と、変化していきます。

でも旅行業者は体力任せの商品を売りつけようとしてきました。高齢者の旅というのは、十人十色どころか、一人十色なんです。私は『自分仕様の旅』と言っているんですが、お客さんの高齢化に伴って、サービスも変化しないといけません。車イスに乗るようになった途端、お客じゃない、なんてことでいいのかということですね」

――気がついたらリタイアメントビジネスに参入していた。

「実際、通信販売でツアー募集したら、空港にやってきたお客さんが車イスだったので大慌てした大手会社の話もあります。

リタイアリー、高齢者、障害者といったお金はあるけれども健康が足りない人に、クオリティ・オブ・ライフを提供しようというもので、決して今までなかった新しいマーケットではないんです。リタイアメントも、それまでの生活は変化するかもしれないけれど、旅に出て、感動したい気持ちは変わらないし、もう旅なんか行かれないとあきらめていた人たちが、『トラベルヘルパー』の助けを借りて旅行できたら、リタイアメント後の人生ももっと明るく楽しいものになります」

新風舎

人は生まれながら表現者である――そう主張するのは広く一般から原稿を集め、本を出版する株式会社新風舎（東京都港区南青山2-22-17・03-5775-5040）、松崎義行社長。新風舎出版賞や平間至写真賞など独自のコンテストを設け、誰もが出版を通じて自己表現できる環境を整えている。松崎義行社長に出版の勧めやビジョンを聞いた。

理想を形にするすべての人と共生したい

――自費出版事業を始めたのはいつですか。

「自費出版ではなく我々は共同出版だといっています。著者が負担する金額で出版を分類したくないのです。この出版を開始したのは22年前ですが、誰でも表現することを構えずに、ストレスなく本を使って表すということを考えてきたので、自然と事業に結び付けていくことができました」

――自費出版事業を展開する出版社は多いですが。

「今まで本を出すという立場になかった人が、実は面白い本が書ける。それをうちで事業として始めたら反響があったんですよ。売れないといわれていた詩集を出して評判になりました。

でも今、その自費出版が単なるビジネスのために行われていると思われている節もあって、必ずしもいいことではないかもしれません。ただ、こういう活動が必要だということは市民権を得られました」

――リタイアリーにも表現したい人が増えています。

「すばらしい表現者としての姿勢を持っている方もみえますが、長い会社勤めで組織的な弊害を受けている方が多い。これまでの経験は財産ですが、役職は財産ではない。なくなってしまったものを後ろ盾にしようとしている姿勢は、その後の生き方の弊害だと思う。

逆に出版を通じて、その弊害を排除することもできます。裸になってひとりの表現者として若い人とも対等に渡り合う世界ですから、読者に批判されることもある。でも、それを受け止めることが表現者になるということ。本来の人の生き方にも通じる気がします。

例えば創業者の方で、家の中でも仕事づくめで家庭がない状態だったのが、本を書くことで家族を取り戻し、泣き叫んで喜ぶ人を見たことがあります」

――これからめざしていく方向性は。

「一流アーティストに表紙のデザインをしてもらったり挿絵を提供してもらったり、本を美しく美術品レベルに高めていくことをどんどんやりたい。

また、これからは理想を形にするすべての人と思いを共有していくことで生き残るのだと考えます」

ーン

首都圏に26の有料老人ホームを展開する株式会社ライフコミューン（東京都港区西新橋1-6-11・03-3580-060

――今後の展開としては、どんなことを考えているのでしょうか。

「02年度は7施設を造りましたが、03年度は13施設を造る計画です。課題は新しい入れていきます。特にこれからは管理職の教育を徹底的にやっていかなければと考えています。そして、これまで1.6対1であった介護を1.5対1（要介護者／ヘル

――介護保険制度の導入で、要介護の方がどこにどのくらいいらっしゃるかがわかるようになったのです。それまでは広告宣伝をしなければなりませんでしたが、

――佐々木裕志社長はその事業展開について各地で講演されていますが。

「社内でもいろいろ討議し

を充実させようということで、価格を下げたのです」

（1面より続く）

アンプレーヌヨーロッパ	大原　一穂	中央区銀座1-15-7マック銀座ビル1005
	化粧品や健康食品の販売、人生のセカンドステージのためのカルチャー教室や女性オーナーの育成	
ベネフィットワン	白石　徳生	新宿区高田馬場1-31-18高田馬場センタービル
	企業の福利厚生代行サービスをカフェテリア方式で展開	
ウェルネス・フロンティア・センター	山下　正幸	千代田区一ツ橋2-1-1如水ビル1F
	健康プログラム付クルージング「ウェルネスクルーズ」などを企画・運営	
郵船クルーズ	那波　光俊	千代田区丸の内2-3-2郵船ビル
	豪華客船クルーズ「飛鳥」の運航、クルーズ商品の企画開発	
ライフコミューン	佐々木　裕志	港区西新橋1-6-11光和ビル
	首都圏に26施設の有料老人ホームを展開	
新風舎	松崎　義行	港区南青山2-22-17
	誰もが出版できる環境を整え共同出版事業を展開	
セレモネット	高橋　紀久	横浜市神奈川区東神奈川2-44
	積み立て式で廉価な葬祭サービスの提供など、高齢社会のトータルサポート	
アクティブ・ケア	阿比留　博	札幌市東区北39条東2-3-15
	介護用品の販売、在宅福祉サービス、福祉用具のレンタル	

法人名	代表者名	所在地
	特徴	
プラネットワークス	猿渡　一秀	川崎市高津区坂戸3-2-1
	携帯電話を利用した在宅ワーカーによるガイド・通訳システムを開発	
日本ロングステイ・アカデミー	清水　健次（設立準備室長）	港区西新橋1-7-13ナンサ虎ノ門ビル
	ロングステイプランアドバイザー養成のための、ウェブサイトによる通信教育事業	
サン・ワークス	中尾　憲一	目黒区三田2-1-9MTビル3F
	不動産仲介業・管理業、海外事業部でマレーシアでの暮らしを提案	
自費出版図書館	伊藤　晋	港区新橋2-16-1ニュー新橋ビル603-2
	自費出版本の貸し出し、販売、自費出版のあらゆる相談	
デンタウェル	齊藤　登	中央区日本橋馬喰町2-7-13 ジョイビル4F
	通院せずに歯科医院と同等の診療が受けられる「訪問歯科診療」	
スタジオKAZUKI <東京サロン>	かづきれいこ	新宿区荒木町4-4森初ビル2F
	医療機関と提携したリハビリメイク、老人ホーム等のメイクボランティア	
ポピンズコーポレーション	中村　紀子	渋谷区広尾1-10-5テック広尾8F
	高齢者在宅介護サービス、ホームヘルパー・ベビーシッター養成、派遣保育施設の運営	

太12Mbps
ライス*
DSL

M.T.B. TOURS
03年1月からのお買い得
日本からの往復航空券

Philippine Airlines
It's about experience
www.philippineairlines.com
次のバケーション "島休暇" は
フィリピン航空の